

胃X線（バリウム）検査前の注射について

当健診センターでは、胃X線（バリウム）検査において、胃の動きをおさえるため鎮経剤（ブチルスコポラミン 20 mg 1A 筋注）の使用を勧めています。

しかし、画像における有用性の研究が不足しています。

現在、当センターでは画像管理システム、健診システムが構築・設置されており、様々な角度からデータ（画像/画像判定/鎮経剤使用の有無）を抽出することが可能です。

また、鎮経剤使用の有無の画像を分析することで画像の違いや特徴、調査・統計・有用性を考察しています。

この調査・研究は、当院の生命倫理・利益相反委員会の了承を得ています。

上記に関する問い合わせは下記にて連絡して下さい。

JCHO 埼玉メディカルセンター
健康管理センター放射線技術部
令和4年3月2日

連絡先 048-832-4951
放射線技術部 奥田 圭二